

和歌山市学校教育方針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 活気にあふれた学校。
- いじめのない学校。
- 基礎的・基本的な学力向上
- 部活動の活躍向上

【学校教育目標】

豊かな心情と思いやりの心を持ち、自ら考え、
ねばり強く実践する生徒を育てる。」

【めざす生徒像】

- ・ 互いのよさを認め、磨き合う生徒
- ・ 自ら課題を解決する意欲をもつ生徒
- ・ 健康な心と体づくりに努める生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進みつつある。
- 学校の課題等を保護者や地域に伝えている。
- 地域行事への参加を増やす。

生徒の実態

- 素直で純朴である。
- 挨拶がよくできる。
- 自ら行う行動力にかける。
- 家庭学習の定着率がやや弱い。

重点目標

具体的な取組

指標

確かな学力の向上

- ◎ 生徒指導及びよりよい学習環境づくり
- ◎ 基礎・基本の確実な定着
- ◎ 家庭学習の定着

- 学習形態の工夫（感染症が終息次第）
- 校内授業研究の推進（現職教育で）
- 和歌山大学との連携事業による学生ボランティアの充実
- 朝学の徹底。
- 家庭学習の推進を図るため、生徒への課題等を工夫する。
- 授業改善のための外部講師の招聘

- ・ 県学習到達度調査の正答率が県平均を上回る。（1・2年生とも）
- ・ 「わかる授業」を8割以上にする。

豊かな心の育成

- ◎ 更なる道徳教育の充実
- ◎ いじめのない集団づくり
- ◎ 規範意識の向上（校外外）
- ◎ 体験活動等で豊かな心の育成

- いじめアンケートを複数回行い、その後の教育相談で未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。
- 教科化2年目の道徳では昨年度の実践を基盤に道徳教育推進教師を中心に更なる活性化を図る。
- より良い学級集団づくりのため、外部講師の招聘を行いQ.Uの活用を昨年度以上に図る。

- ・ 「学校が楽しい」を9割（生徒）以上にする。
- ・ いじめの早期発見を徹底的に行う。

健やかな体の育成

- ◎ 基本的生活習慣の確立
- ◎ 体力の向上
- ◎ 情報モラルの充実
- ◎ 危機管理能力の向上

- 「学年便り」「生徒指導だより」等を通じて、生徒への基本的生活習慣を促す。
- 体育的行事の充実を図るとともに計画的に体力の向上を目指す。
- 適宜に情報モラル教室を行い危機回避能力を育成する。
- 県警によるキッズサポートにより規範意識を高める。
- 避難訓練を年3回以上行う。

- ・ 「学校の決まりが守られている」を9割（生徒）以上にする。
- ・ 遅刻ゼロを目指す。

地域とともにある学校

- ◎ 「貴志の教育を高める会」活動の充実
- ◎ 家庭・地域との連携充実
- ◎ 共育コミュニティとの連携充実

- 学校便り・学年便り・学級通信・貴志中の輝き等による保護者や地域への情報発信。
- 学校ホームページへの情報掲載
- 「貴志の里展」を通して、地域との絆を更に深める。
- 学校行事等への保護者の参加協力を積極的に推進する。
- 学校運営協議会を通じて地域との連携を図る。

- ・ 「子どもの様子を保護者に適切に伝えている」を8割以上にする。